

「令和6年能登半島地震」への対応について

日本赤十字社福井県支部
(令和6年1月19日9:00調製)

1 地震の概要

- 発生時刻 令和6年1月1日16時10分頃
- 震源地 石川県能登地方(震源の深さ:16km)
- 地震の規模 マグニチュード7.6
- 震度状況
 - 石川県:震度7(志賀町)、震度6強(七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町)
 - ※ 福井県:震度5強(あわら市)、震度5弱(福井市、坂井市)
 - 石川県能登に大津波警報、福井県沿岸等に津波警報発表
- 被害状況(1月18日14:00現在:石川県)
 - 死者 232名(うち14名関連死) 安否不明者21名
 - 負傷者 1,000名以上、住宅被害28,000棟以上
 - インフラ・ライフライン(土砂崩れ、道路寸断、断水、停電など)
 - ※ 福井県:軽傷者6名、土砂流出、道路液状化、一部地域で断水ほか
- 避難状況(石川県災害対策本部まとめ)

市町村避難所	370か所	15,130人
県避難所(1.5次)	2か所	283人
〃(2次:旅館・ホテル等)		
	77か所	1,807人

2 日赤福井県支部の対応状況

- 支援チーム等の派遣
 - コーディネートチーム
 - 第1班(3名:1月2日~4日の3日間)
救護班の派遣調整
 - 救護班
 - 第1班(7名:1月2日~4日の3日間)
高齢者施設でのアセスメントを実施
 - 第2班(8名:1月8日~11日の4日間)
 - 第3班(9名:1月17日~20日の4日間)
避難所等での巡回診療、コロナ患者等への対応、感染管理指導、薬剤処方等
 - DMA T
 - 患者搬送・受入対応(6名:1月6日)
柳田温泉病院(能登町)⇒福井空港SCU⇒福井赤十字病院(2名受入)
 - 第1班(5名:1月8日~13日の6日間)
患者搬送・受入支援(珠洲市⇒小松市民病院)



石川県立中央病院での医療支援

小松空港SCUに移送されてきた患者の病院搬送

患者搬送に必要な新たなSCUの設営・指揮（石川総合スポーツC）

- ・ 救援物資の搬送

（1月3日：救護奉仕団延べ6名の協力）

毛布、安眠セットをそれぞれ穴水町、珠洲市に搬送

穴水町（毛布 500 枚、安眠セット 50 セット）

珠洲市（毛布 500 枚、安眠セット 51 セット）

（1月5日）

毛布 500 枚を富山県支部に搬送

（1月6日）

ラップポン（簡易トイレ）10台を石川県支部に搬送

- ・ 「令和6年能登半島地震災害義援金」の受付開始

受付期間：令和6年1月4日～12月27日

- ・ 日赤石川県支部災対本部へ支援要員

派遣（1名：令和6年1月14日～18日の5日間）



3 福井赤十字病院における患者受入

- ・ 1月6日 2名受入（再掲）

柳田温泉病院（能登町）⇒福井空港SCU（DMAT対応）⇒福井赤十字病院

- ・ 1月9日 5名受入

市立輪島病院⇒自衛隊によって福井空港にへり搬送⇒福井赤十字病院

※下線部は追加・更新箇所

【支援チーム等の活動状況】

〔活動拠点等でのミーティング〕



〔特別養護老人ホームでの問診〕



〔健康増進Cで診察する医師〕



〔避難所での実態調査〕

